

取扱説明書 Ver 1.00

ST-110 MKストーブ



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用の薪ストーブです。本製品は取り扱いを誤ると人命に危険を及ぼす可能性を持っており、事前に一酸化炭素や、薪ストーブに関する知識を得る必要があります。誤った使用による大きな事故を防ぐため、本製品の取扱講習を受けた上、本取扱説明書をよく読み、十分に理解した上でご使用いただくようお願いいたします。説明内容が理解できない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。また、今後もスムーズかつ安全に製品をご使用いただくために、取扱説明書は大切に保管してください。

一酸化炭素中毒による危険性について

燃焼している薪からは一酸化炭素と二酸化炭素などが発生しています。酸素が多い状態では二酸化炭素が多く発生し、酸素が不足した状態になりますと一酸化炭素が多く発生します。特に密閉空間では、酸素の少ない状況になりやすいため、一酸化炭素の濃度が高まり、中毒症状が起こりやすくなります。一酸化炭素は毒性があり人体に悪影響を与え、吸引の度合いによっては死亡につながる大変危険な物質です。一酸化炭素は無色透明、無臭の為、存在が分かりにくい物質であるため、ストーブを使用する場合には、事前に吸引しにくい状況をつくる必要があります。

●一酸化炭素による人体への影響

一酸化炭素濃度	単位：ppm	吸引時間／症状
0.02%	200 ppm	2～3時間内に軽い頭痛
0.04%	400 ppm	1～2時間で前頭痛、2.5～3.5時間で後頭痛
0.08%	800 ppm	45分で頭痛、めまい、吐気、2時間で失神
0.16%	1600 ppm	20分で頭痛、めまい、2時間で死亡
0.32%	3200 ppm	5～10分で頭痛、めまい、30分で死亡
0.64%	6400 ppm	1～2分で頭痛、めまい、10～15分で死亡
1.28%	12800 ppm	1～3分で死亡

※幼児の場合はより低い濃度で死亡し得るという報告もあります。

経済産業省 高圧ガス保安協会「CO中毒事故防止技術」抜粋

免責事項

本製品はキャンプ用薪ストーブです。ご使用になる前に、必ず本取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で、安全に十分配慮してご使用ください。

本製品の使用により発生した一切の損害について、当社は次の各号に定める事由およびその他法令上免責が認められる事由に基づき、一切の責任を負わないものとします。

●不適切な使用・組み立て・指示不遵守による損害

- ・本製品の不正確、不完全な組み立て、または取扱説明書に記載されている使用方法や警告・指示事項に一切従わなかったことに起因する、火災、爆発、ヤケド、中毒、その他の人身傷害、物的損害(家屋、テント、キャンプ用品、その他周囲の財産を含むが、これに限定されない)、および逸失利益等のあらゆる損害。
- ・取扱説明書に記載されていない燃料(市販されている薪以外)を使用したことに起因する一切の損害。

●幕体の組み合わせと火気管理の不徹底に起因する損害

- ・本製品は、本来、当社の指定する特定のテントまたは幕体と組み合わせて使用することを前提として設計されています。
- ・弊社の販売している、テント、タープ、シェルター等の製品においてST-110 MKストーブの使用に関して設置が可能であると明記されている幕体(以下、指定幕体)以外と本製品を組み合わせることは一切認めません。
- ・万一、指定幕体以外と組み合わせて使用した際に発生した、火災、延焼、破損、人身傷害、その他のあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・指定幕体と組み合わせた場合であっても、火の不始末、不適切な設置方法(煙突の設置、固定、断熱処理の不備等)、あるいは強風等の気象条件を含む使用者の過失により火災が発生し、使用者および第三者(周囲の方々)の身体、家屋、財産等に被害が生じた場合の、一切の損害。

●製品の改造および混在使用による損害の特別

- ・使用者または第三者による本製品の改造、分解、修理、または本来の用途以外に使用したことに起因する一切の損害。
- ・本製品と他社製の薪ストーブ関連部品(煙突、断熱材、延長パーツ等)を組み合わせることは一切認めません。これら他社製品との混在使用に起因する、性能低下、破損、火災、一酸化炭素中毒、その他のあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品と、当社の仕様変更された新旧製品を混在させて使用したことにより生じた一切の損害。

●運搬・組み立て・保管に伴う損害

- ・本製品の運搬、組み立て、解体、または保管に伴い、使用者および周囲の第三者の所有する器物、財産等に生じた物理的な損害。

●一酸化炭素中毒等による損害

- ・一酸化炭素チェッカーの不使用、不適切な換気、不適切な使用環境(テント内での使用、密閉空間での使用等)により発生した一酸化炭素中毒、またはこれに類する有毒ガスによる、人身および財産上のあらゆる損害。

●誓約事項への違反

- ・別途提出された誓約書または合意事項に違反して本製品を使用した場合に生じた一切の損害。

●その他

- ・天災地変、戦争、暴動、法令の制定・改廃その他の不可抗力によって生じた一切の損害。

【重要なお知らせ】製品仕様の変更について

弊社は、品質向上等の理由により、予告なく製品の仕様を変更する場合があります。

仕様が変更された製品と古い製品を混在させて使用しないでください。

仕様変更に起因する事故・損害についても、上記各号の規定を準用するものとします。

■ 安全上の注意

△ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 指定幕体とMKストーブ以外の組み合わせでは絶対に使用しないでください。指定された組み合わせ以外で発生した事故やトラブルについては、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品と併せてご使用になる各アイテムの取扱説明書を必ずお読みください。
- 初回使用時は製造時に付着した油分により煙が出ることがあります。指定幕体内で使用の際は、出入口を全開にし、屋外使用時は風通しの良い場所で、薪を十分に入れて約3時間燃焼させ油分を焼き切ってください。
- MKストーブを指定幕体内などの限られた空間で使用する場合は、一酸化炭素中毒の危険があります。絶対に密閉状態で使用しないでください。また限られた空間で使用の際は、必ずスノーピーク製一酸化炭素チェッカーを使用してください。一酸化炭素チェッカーは、同梱の取扱説明書に従い、指定の取付位置に正しく設置してください。
- 天候により危険を感じる場合は速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。お出かけの前に気象情報を十分に把握しておき、悪天候が予想される場合や、使用中に風や雨(雪)が強くなってきたら使用を中止してください。
- 燃えやすい地面や植物の上での使用は火災の危険があります。必ず付属の遮熱プレートを使用してください。
- 雪上での設営時は、設置場所の除雪を行い、ストーブの脚部が地面にしっかりと接地していること、また煙突が取扱説明書通り組付けができるか確認してください。組付けができない場合は、設置場所を変えてください。
- 使用中は近くでガス缶及び他燃料を使用する燃焼機器・ランタンは使用しないでください。※着火用のライター及びマッチはご使用いただけます。
- 市販されている天然木の薪以外のものを燃焼させないでください。爆発するおそれがあるものや、有害性ガスが発生するものを燃やすと最悪の場合死亡するおそれがあります。また、紙類など火の粉が飛散する燃料を燃やさないでください。煙突から火の粉が飛び散り、火災やシェルターの損傷の原因になる可能性があります。
- よく乾燥した薪以外を使用しないでください。うまく着火せずに不完全燃焼を起こし一酸化炭素が発生するおそれがあります。
- 燃焼時、着火剤の継ぎ足しはしないでください。炎が燃え移り、大変危険です。
- 石油系着火剤は使用しないでください。条件によっては一酸化炭素が発生しやすくなります。
- 薪ストーブの燃料に石炭、練炭、豆炭等の薪以外の燃料は使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険性がある他、製品の損傷、火災につながるおそれがあります。
- 着火や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しないでください。
- 2つのドアを同時に開かないでください。一酸化炭素濃度が上がる可能性があります。また両側から同時に薪をくべるとうまく薪を設置できずドアが閉まらなくなったり、炎がドアから飛び出たりするおそれがあります。
- 燃焼中、水をかけると水蒸気が発生し危険です。飛散したお湯でヤケドをするおそれがあります。
- ストーブの周囲に衣類など可燃性のものを吊るしたり置いたりしないでください。揺れて落下すると火がつき、火災の原因となります。
- 子どもやペットがストーブに近づかないように注意してください。ヤケドやその他の危険を避けるため、厳重に監視が必要です。
- ストーブを組み立てた状態で移動させないでください。移動する際は本体が冷めていることを確認して、すべて分解して移動してください。
- 消火を行う際は最後に薪を投入したときから、「最低3時間」経過した後に行ってください。ストーブが熱を持っているため大変危険です。

△ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 公園や河川敷、キャンプ場といった公用地でご使用の際は各自治体や管理者に確認してください。
- 地権者(私有、公有の別なく)の許可がない場所で使用しないでください。
- 焚火や火器などの使用が禁じられている場所では絶対に使用しないでください。
- 傾斜地や不安定な場所での設置は避けてください。ストーブが倒れるおそれがあります。
- ストーブを組み込むことが可能な製品は対応表をご参照ください。(P.5)
- ストーブ設置時にはケガに注意し、以下のことを守ってください。
 - ・パーツの端部に触れないでください。
 - ・作業用の手袋を着用してください。
 - ・パーツを組み合わせるときは、手を接合部付近に置かないでください。
- IGTフレームに組み込んで使用する場合は、下記のご注意ください。
 - ・IGTの各パーツが組み合わさり確実に固定されていることを確認してご使用ください。使用中も接合部を点検し、異常が確認された場合は使用を中止してください。転倒、火災、ヤケドのおそれがあります。
 - ・IGTフレームに取り付け可能な製品は対応表をご参照ください。(P.5)
 - ・IGTの脚はシーンによって使用できる脚の長さが異なります。P.5の対応表に則りご使用ください。
 - ・IGT脚固定プレートを取り付け、必ずベグダウンしてください。転倒するおそれがあります。
 - ・IGTフレームやストーブ周辺は大変熱くなります。ヤケドのおそれがあります。
- 可燃物との安全距離(熱の影響を受けない距離)を確保してください。火の粉が飛び散り火災につながる可能性があります。ストーブは熱量が多くポケットに入れたライターなども遠赤外線効果で加熱され爆発、火災を起こすおそれがあります。
- 熱の影響を受けやすいものをストーブに近づけないでください。
- 使用する調理器具は下記の点に注意してください。
 - ・調理に使用するクッカーは鍋底径が17cm以下のもので高さが鍋底径より高いものは使用しないでください。転倒のおそれがあります。
 - ・鍋底径が17cm以下でも鍋が煙突に接触する鍋は使用しないでください。破損の原因となります。
 - ・樹脂や木材など熱の影響を受ける素材を使った調理器具は使用しないでください。変形や破損のおそれがあります。
 - ・調理器具のハンドルを窓ガラス側に出さないでください。ハンドルが熱くなりヤケドのおそれがあります。
- 指定幕体内が混みあった状態では使用しないでください。人が指定幕体内で転倒するとストーブや煙突に触れ、ヤケドのおそれがあります。

△ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 本製品はステンレス材を使用していますが、ご使用条件や熱の影響によりサビが発生することがあります。あらかじめご了承ください。
- 異常燃焼や本体の破損等の異常を感じたら使用しないでください。
- 使用中は火や周囲の状況などに細心の注意を払ってください。子どもやペットがストーブや煙突に触れないよう目を離さず十分ご注意ください。
- 万一の事態に備えて水の入ったバケツを用意してください。
- 調理をする際や薪をストーブに投入する際は必ず耐熱性のグローブを着用してください。本体、煙突は大変熱くなりますのでヤケドのおそれがあります。
- 設置場所に十分なスペースを確保してください。
- IGTフレームにのせて使用する場合は、IGTフレームやストーブの上に脚をのせたり、座ったりしないでください。また、IGTレールにはキッチンツールなどを吊り下げたりしないでください。ストーブを扱う際に妨げになり事故につながるおそれがあります。
- ストーブ周辺に電子機器、熱の影響を受けやすい物品などを置かないでください。
- 熱により変形・変色する可能性があります。本体使用に影響はありません。あらかじめご了承ください。
- 煙突およびストーブに付いた指紋や油汚れは、燃焼すると焼け跡となって浮かび上がることがあります。

各種対応表

■ ストープ組込対応表

CK-149	アイアングリルテーブル フレーム
CK-150	アイアングリルテーブル フレームロング
CK-903	セパレートIGT フレーム 3ユニット
CK-904	セパレートIGT フレーム 4ユニット
GF-015	ガーデンユニットテーブル ウッドトップセット

※ガーデンユニットテーブル ウッドトップ 2PCS は使用できません。

■ マルチファンクションテーブル対応表

注意 ●竹天板製品はストープの熱により、反り・割・変色が生じるおそれがあります。注意してご使用ください
●マルチファンクションテーブルはIGT フレームのレールジョイントを使用してください。薪の投入に支障が出るため短辺側に取り付けしないでください。

CK-116TR	マルチファンクションテーブル竹
CK-117TR	マルチファンクションテーブル ロング竹
CK-116TL	マルチファンクションテーブル Light Bamboo
CK-117TL	マルチファンクションテーブルロング Light Bamboo

■ トレー対応表

CK-026	リッドトレイーフユニット
CK-085	ステンレストレー 1ユニット

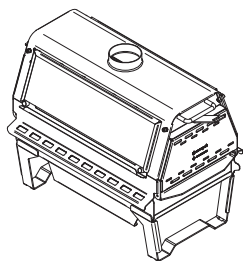
■ IGT脚対応表

品番	品名	シェルター内	シェルター外(単品使用)
CK-109	300脚セット	○	○
CK-112	400脚セット	○	○
CK-113	660脚セット	×	○
CK-114	830脚セット	×	○

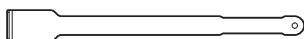
■ クッカー対応表

SCS-200	ヤエンクッカー1000
SCS-201	ヤエンクッカー1500
SCS-009	トレック1400
SCS-009T	チタントレック 1400
SCS-020T	チタンパーソナルクッカーセット
SCS-020R	アルミパーソナルクッカーセット
CS-068R	ケトルNo.1
CS-550	コンボダッチデュオ

セット内容 ※ご使用前にセット内容、付属品がすべて揃っているかを確認してください。



ストーブ本体



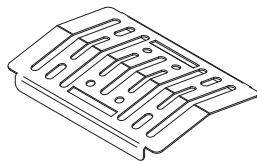
灰かき



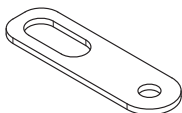
ハンドル



煙突ホルダー



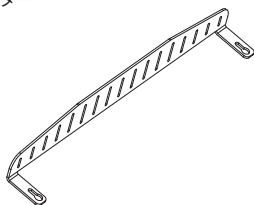
ロストル×2



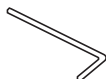
IGT脚固定プレート×4



カラビナ×8



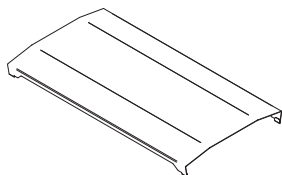
クッカーガード×2



六角レンチ



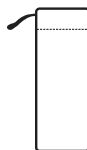
煙突セット



遮熱プレート



自在付ロープ(3.7m) ×4



煙突収納ケース

【IGT フレームに組み込む場合】

IGT を固定するベグが付属されておりません。お持ちの鍛造ベグを別途ご用意ください。

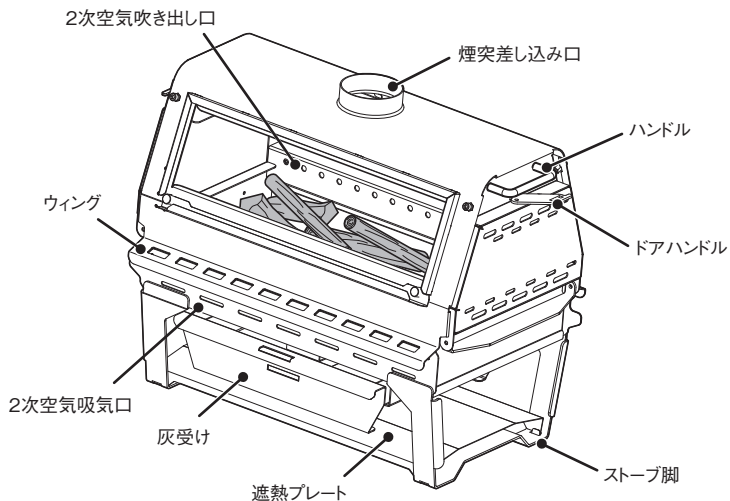
●鍛造ベグの条件

30cm 以上のベグ ×4 本

●ステンレストレーについて

ステンレストレー 1 ユニットもしくはリッドトレー・ハーフユニットを必要数ご用意ください。

各部の名称



煙突

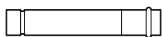
アダプター



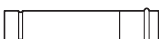
Φ8×30cm 1本



Φ7.5×40cm 4本



Φ8×40cm 4本



Φ7.5×50cm 1本



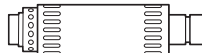
Φ8×50cm 1本



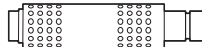
煙突ホルダー



トリプルウォール



2部品構成



初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設置道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

ストーブ組立の手順

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・組立・撤収は製品の破損や事故の原因になります。

危険

- ストーブは、地盤がしっかりとした平坦な場所で設置してください。傾いた場所への設置は思わぬ事故の原因となります。
- 冬季節でのご使用は除雪を行い、「ストーブの脚部が地面にしっかり接地していること」と「煙突が取扱説明書通り組付けができていないこと」を確認してください。組付けができない場合は、指定幕体本体ごと設置場所を変えてください。

警告

- ストーブの設置は必ず2人以上で作業してください。
- ストーブを設置する際には必ず作業用の手袋を着用してください。

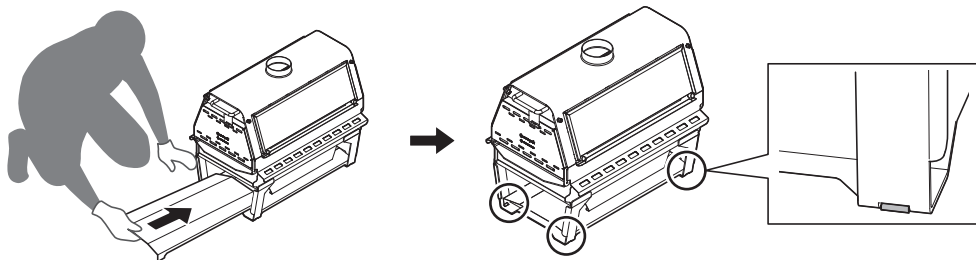
注意 指定幕体内で使用できるIGTの脚の長さについてはP.5の対応表、または指定幕体取扱説明書を参照してください。

指定幕体内で使用する場合は、各指定幕体側の取扱説明書を確認の上、取り付けをおこなってください。

① 遮熱プレートを取り付ける

ストーブ本体の下、短辺側から遮熱プレートを送り込んで遮熱プレートの爪が引っかかるように取り付けます。

警告 遮熱プレートは必ず使用してください。



② ロストルを図の位置に取り付ける

組込方：灰かきをロストルの穴に差し込み、(図1)、上に持ち上げ、ストーブの図の位置に組み込んでください。(図2)

取外し方：組込方の逆の手順で行ってください。取りはずす際、ロストルがとても熱くなっておりますので、ヤケドに十分ご注意ください。

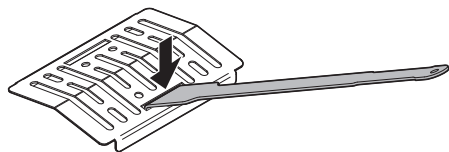


図1

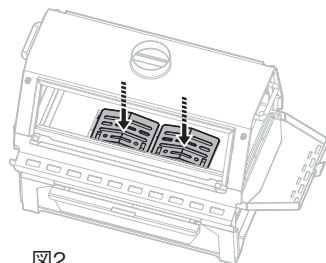
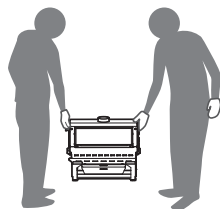


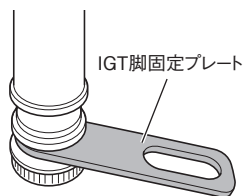
図2

③ ストープを設置する

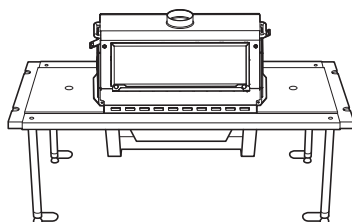
※2人で向かい合いながらストープのハンドルを持ち運びます。
※IGTフレームに設置する場合は、以下の作業をおこなってください。



- 1) IGTの脚のアジャスター部分にIGT脚固定プレートを取り付けます。(4箇所)
- 2) 脚を取り付けたIGTフレームを設置場所に置きます。



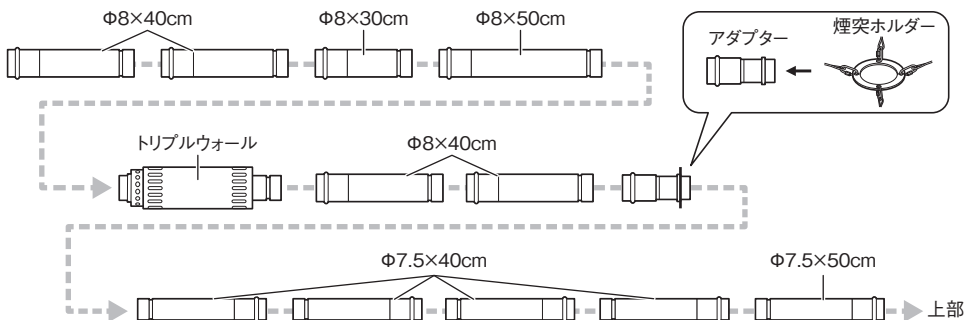
- 3) 2人で向き合いながらストープのハンドルを持ち、必ずIGTフレームの中央に組み込みます。隙間にステンレストレーを組み込みます。
※灰受けを任意の向きにしてください。



④ 煙突を取り付ける

煙突を図の向きでひとつずつ順に差込みます。

指定幕体内で使用する場合は、指定幕体によって接続方法が異なります。取り付ける指定幕体側の取扱説明書で煙突の取り付け方を確認してください。

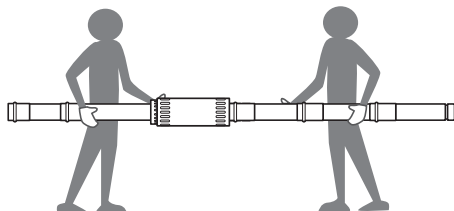


警告

- 煙突の端部は製品の加工上、鋭利になっています。触れないようご注意ください。
- 周囲の人やものにぶつけないようにしてください。ケガのおそれがあります。

注意

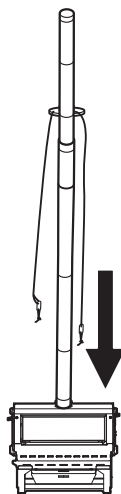
- 煙突は最後まで差し込まれていることを確認してください。
- 差し込む際に強引にねじ込んだり過剰な負荷をかけないでください。煙突が変形します。



煙突は2人で持ち、差し込む角度を調節しながら差し込むと組立しやすくなります。

⑤ 煙突をストーブに差し込む

煙突を垂直にし、煙突が下方向に完全に停止するまでストーブに差し込みます。

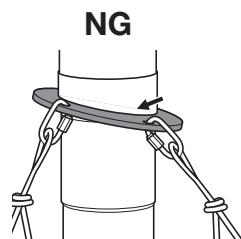
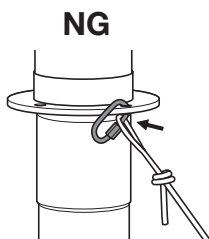
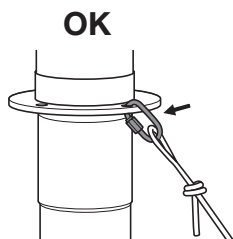


⑥ 煙突をロープで固定する

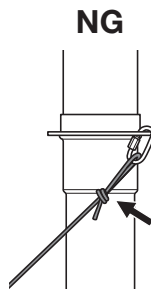
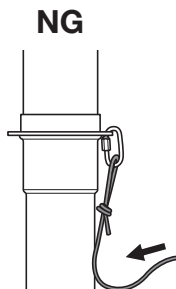
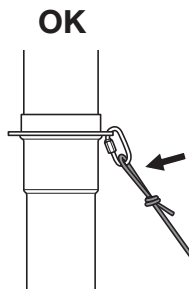
それぞれの使い方に応じて固定位置に自在付ロープ(3.7m)で固定してください。固定の際は次のことを確認し、煙突を回転させて位置を調整してください。

- ・ロープとカラビナの固定箇所がずれていないか
- ・ロープが直に煙突に触れていないか
- ・カラビナがずれていないか

● 煙突ホルダーの調整を行なってください。



煙突ホルダーが斜めになっている場合は、地面と平行になるように調整してください。



● 通常の使い方

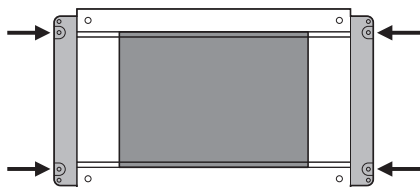
ストーブから1m以上離して30cm以上の鍛造ベグで自在付ロープ(3.7m)をベグダウンします。(4箇所)

このとき、地面に打ち込む側のカラビナは不要です。

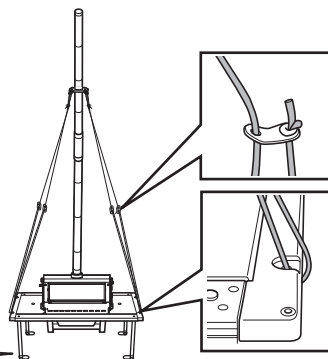
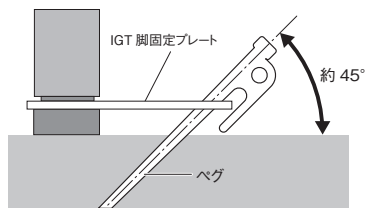


● IGTフレームに組込んで使用する場合

1) IGTフレームの短辺の穴に自在付きロープ(3.7m)を通し、煙突を固定します。(4箇所)



2) 煙突の確認後、IGT脚固定プレートをベグダウンし、しっかりと地面に固定します。
※使用するベグは30cm以上の鍛造ベグを使用してください。



3) ベグダウン後に自在ロープ(3.7m)のテンションを適度にかけます。

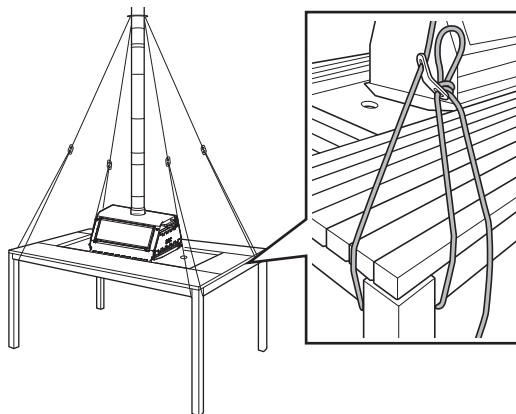
● ガーデンユニットテーブル ウッドトップセットに組込む場合

テーブルの脚に自在付ロープ(3.7m)を図のように固定し、自在でテンションをかけます。(4箇所)

ステンレスレーを左右にいらしてください。

※IGT脚固定プレートは使用しません。

※ウッドトップは使用できません。



⑦ 調理をする場合は最後に操作方法(P.15)の手順でクッカーガードを取り付けてください。

使用前チェックリスト(ストーブに着火を行う前の確認)

ストーブに着火を行う前には、以下のチェックリストを使用し、ストーブ(併用する指定幕体・別売の一酸化炭素チェッカー)の状態確認を必ず行ってください。

<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定幕体内で使用する場合、指定された換気窓は開いているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定幕体内で使用する場合、一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ベグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションがかかっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいものがないか。

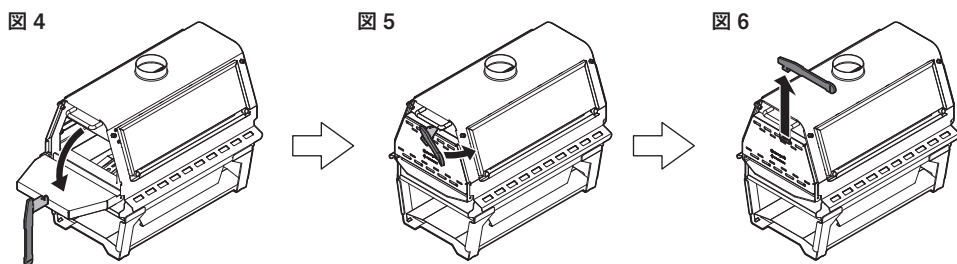
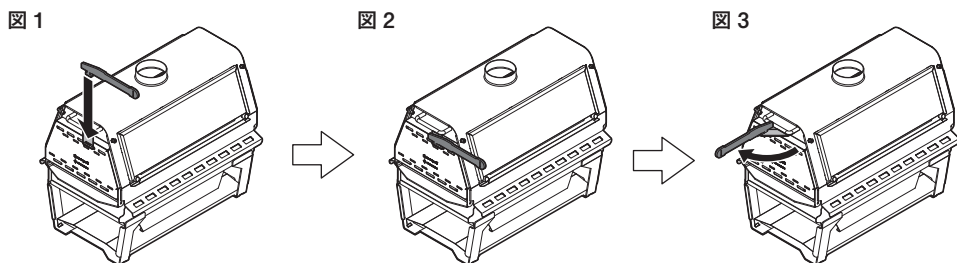
操作方法

■ ドアの開閉手順

ドアを開ける際はハンドルを本体ドアハンドルの穴に差し込み(図1、図2)、差し込んだハンドルを図3のように90°ひねり、ドアをゆっくりと下におろして開けてください。

ドアを閉める際は逆の手順で行い、ドアを閉めた後は必ずハンドルは取り外してください。(図5、図6)

注意 ドアを開めて、ドアハンドルでしっかりとロックしてください。(図5)



■ 灰受けの開閉手順

開け方：灰かきを灰受けの穴に差し込み(図 1 a または b)、引っ張り出してください。(図 2)

閉め方：開け方の逆の手順で行い、灰受けをしっかりとはめてください。

※必ず灰受けの操作後は灰かきを取り外してください。

図 1

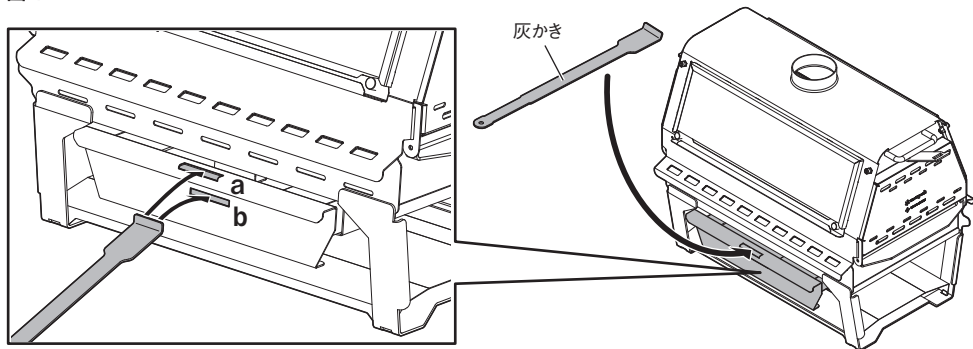
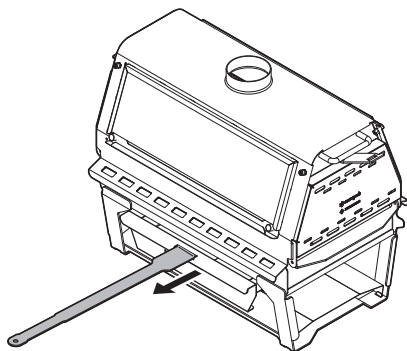
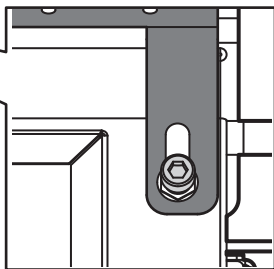
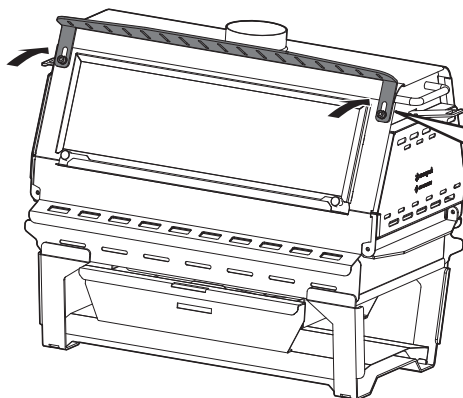
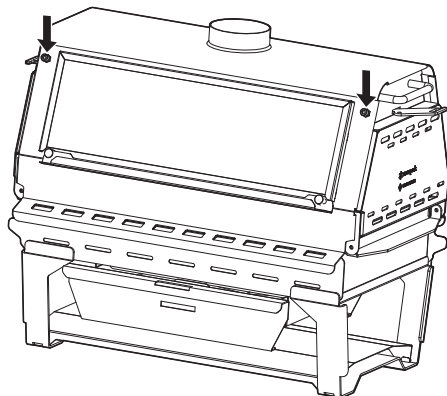


図 2

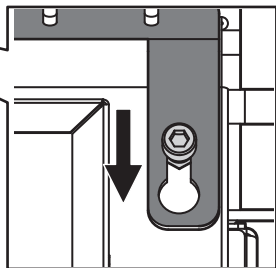
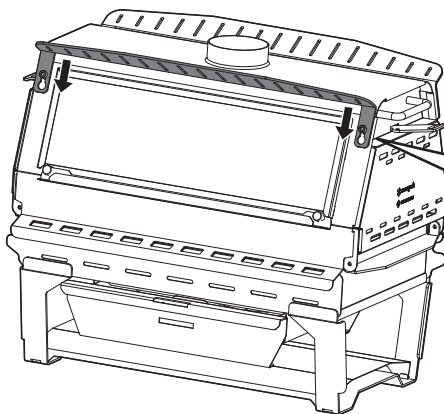


■ クッカーガードの取付手順

- ① MKストーブの図の位置のボルトにクッカーガードの大きい穴を入れます。
ボルトが締めきってしまっている場合は5mm程度緩ませます。



- ② クッカーガードを下にスライドします。
両側行い取り付け完了です。



使用方法

危険 指定幕体内で使用する場合、一酸化炭素チェッカーは薪を着火する前に必ず電源を入れてください。

警告 着火をする前に、水の入ったバケツ、断熱性のグローブ、火ばさみは必ず準備してください。

■ 初めて使用するとき

- ① 初めて使用する場合、指定幕体内で使用の場合はシェルターの出入口パネルを両側完全に開放してください。この時、出入口の荷物は整理し、緊急時の避難経路を常に確保してください。
- ② 次ページ以降の着火方法に従い、ストーブに着火してください。
- ③ 初回使用時は、本体に付着した工業用油を焼き切る必要があります。焼き切りの際は、幕体内・屋外いずれの場合も、煙を吸い込まないように十分に換気を行い、周囲に人がいない状態で作業してください。薪の投入時以外は本体の近くに待機せず、約3時間燃焼させてください。焼けた油の煙を吸うと体調を崩すおそれがあります。

注意 薪の量が少なくと本体温度が上がらず油を焼き切ることができなくなります。常に2次空気吹き出し口のラインまで薪をくべてください。

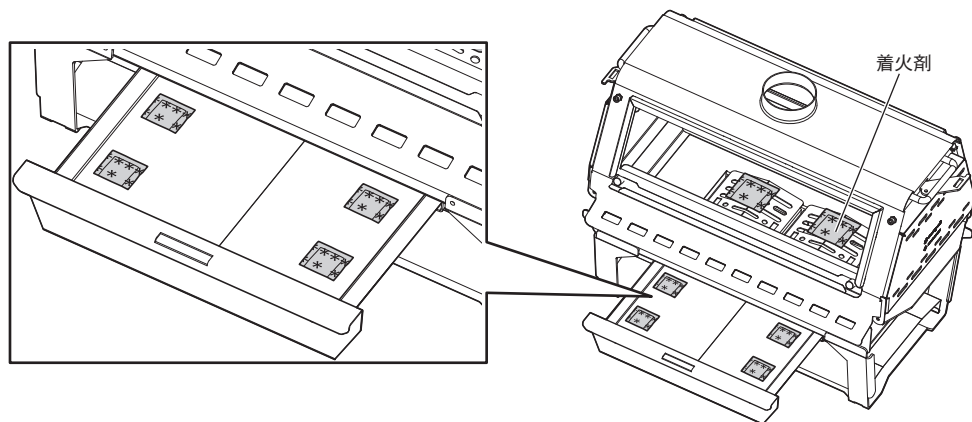
■ 着火方法

注意 乾燥した薪を使用してください。

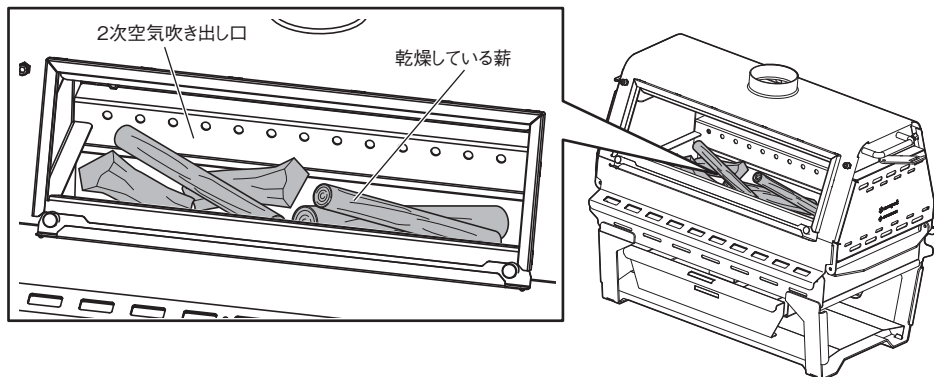
薪が湿っている場合は着火しにくい場合があります。

着火を続けると一酸化炭素が大量に発生してしまう可能性がありますので一度着火を止め、新たに乾燥している薪をご準備ください。

- ① 灰受けとストーブ内に着火剤を図の位置に設置してください。



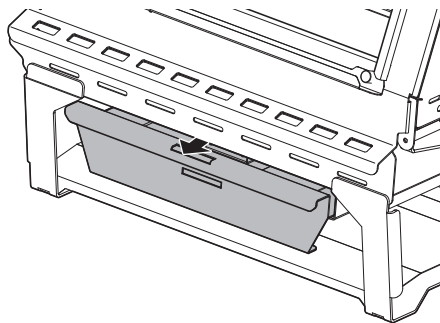
- ② 薪(針葉樹)を数本(目安:4~5本)設置してください。このときに、薪を入れすぎるとうまく空気が入らず着火しないおそれがあります。また2次空気吹き出し口より高い位置まで薪は入れないでください。



- ③ 着火剤にマッチなどで着火してください。
着火しにくい場合は灰受けから空気をうまく取り入れるために灰受けを1cmほど引き出してください。

※ストーブ内のすべての薪にしっかりと着火したら、灰受けを完全に閉めてください。

注意 2次空気吹き出し口から炎が出始めたら本燃焼が始まっています。2次燃焼が始まった後は、2次空気吹き出し口より高く薪を入れても大丈夫ですが、2次空気吹き出し口と煙突の入口は塞がないように薪の入れ方や量を調整してください。



2次空気吹き出し口を塞がないように火バサミを使用して薪(広葉樹)を入れてください。
このとき、必ず片方のドアのみを使用してください。

危険 2つのドアを同時に開かないでください。一酸化炭素濃度が上がる可能性があります。また両側から同時に薪をくべるとまく薪を設置できずドアが閉まらなくなったり、炎がドアから飛び出たりするおそれがあります。

■ 火力調整

火力調整は薪の量で行ってください。新しい薪を足しても火力が強くならない場合は灰がロストルの穴を塞いでいる可能性があります。灰かきを使用し灰をどかして灰受けを少し開けてください。しっかりと薪が燃え始めたら再度灰受けは完全に閉めてください。

■ 調理をする場合

調理をする場合はクッカーガードを必ず使用してください。

調理に使用するクッカーは鍋底径が17cm以下のもので高さが鍋底径より高いものは使用しないでください。転倒のおそれがあります。また鍋底径が17cm以下でも鍋が煙突に接触する鍋は使用しないでください。破損の原因となります。(鍋対応表P.5)

樹脂や木材など熱の影響を受ける素材を使った調理器具は使用しないでください。変形や破損のおそれがあります。

指定幕体内で使用する場合は、煙が出るような調理をしないでください。身体に悪影響を与えるおそれがあります。

調理器具のハンドルを窓側に出さないでください。ハンドルが熱くなりヤケドのおそれがあります。

調理をする際は常に耐熱性のグローブを使用してください。ヤケドのおそれがあります。

撤収方法

危険 消火を行う際は最後に薪を投入したときから、「最低3時間」経過した後に行ってください。ストーブが熱を持っているため大変危険です。

- ① 周囲に水の入ったバケツを用意してください。鎮火する際、煙や火の粉が飛ぶおそれがあります。バケツの設置はシュルターや周囲の人やものに被害が出ない位置にしてください。(図1)
- ② ストーブを開け灰かきを使用しロストルを取り出してください。このとき、作業がやりにくい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰が舞ってしまうので注意してください。(図2)
- ③ ロストルを取り出したら灰かきを使用し灰受けにすべての炭を落としてください。このとき、作業がやりにくい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰が舞ってしまうので注意してください。(図2)
- ④ 灰かきを使用し灰受けを取り出し、水の入ったバケツの位置まで慎重に持っていき鎮火してください。灰受けは重いので必ず灰かきは両手で持ってください。(図3)
- ⑤ 撤収は設営と逆の手順で行ってください。

図 1

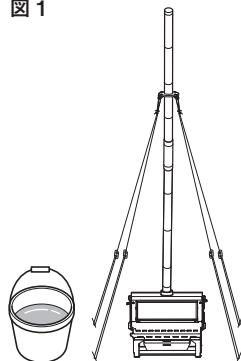


図 2

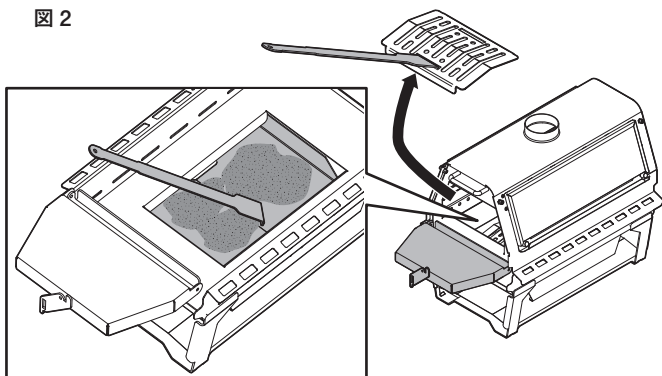
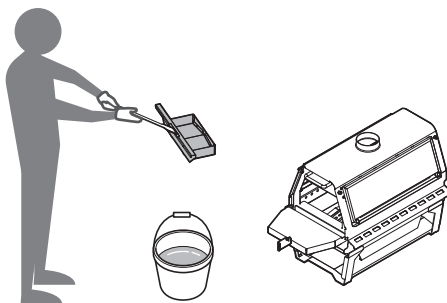


図 3



非常時の対応について

以下の現象が起こった際は速やかにシェルターの外に避難し、鎮火するまでお待ちください。必要に応じて消防署へご連絡ください。

- 燃焼中何らかの衝撃で煙突が抜けてしまった場合。
- 燃焼中ストーブのドアを閉めているのに幕内に異常な煙/異臭が発生した場合。
- 炎が逆流した場合。
- ストーブ外に炎が燃え移った場合。

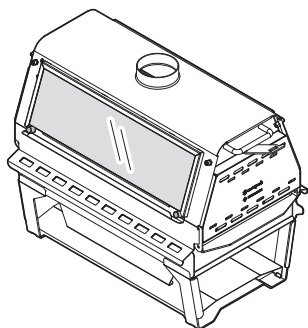
※水で消そうとしても直ぐに消火できません。

メンテナンス方法

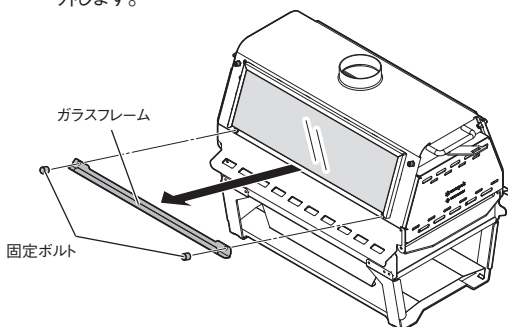
- ストーブ、煙突を洗浄する場合は、硬い素材のたわしなどを使用すると傷の原因となります。
- 本製品をメンテナンス及び清掃する際は必ず手袋などの保護具を使用してください。
- 軽い汚れや水分が付着した場合は、速やかに乾いた布で拭き取り、十分に乾燥させてください。
- 塩分(調味料等)や、その他の薬品が付着した場合は、固く絞った布でよく拭き取り、十分に乾燥させてください。
- 保管をする場合は、直射日光の当たらない、風通しの良く湿気の少ない場所に保管してください。
- 雪中、雨中に放置などの長時間水分との接触、海辺など潮風が当たる場所への放置など状況によりサビが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- ストーブと煙突は濡れた状態で放置するとサビますのでしっかりと乾かしてから保管してください。
- ストーブ内は刷毛ブラシを使用し掃除してください。このとき、本体に傷が入るほどの硬いブラシは使用しないでください。
- 煙突一式は煙突の径にあった煙突用のブラシを使用し1シーズンに1回を目安に掃除を行ってください。煙突内に詰まる煤やタールは、不完全燃焼や煙道火災の原因になります。
- ガラス固定ロープは2年に1度交換してください。ガラス固定ロープ交換の際には、弊社ユーザーサービスまでお問合せください。

■ 窓ガラスの交換方法

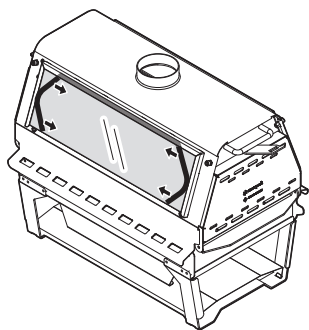
注意 窓ガラスは消耗品です。2年を目安にガラス固定ロープとガラスを交換してください。必ず作業用手袋などを着用し作業を行ってください。本体の端部などでケガをするおそれがあります。



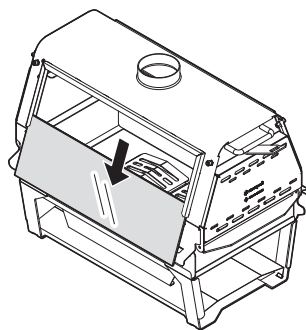
- ① 固定ボルトを2箇所を取り外し、ガラスフレームを取り外します。



- ② 隙間からガラス固定ロープをストーブ内側から取り出します。

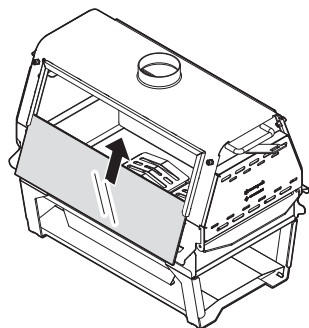


- ③ ガラスをゆっくりと下へ引き抜きます。

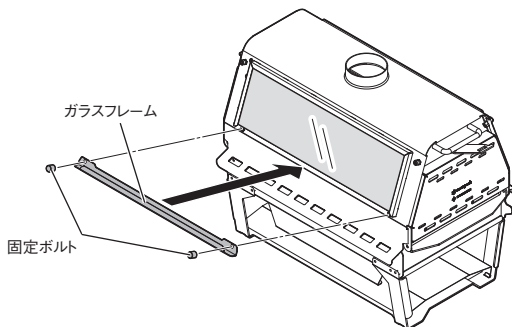


- ④ 新しいガラスをゆっくりと差し込みます。

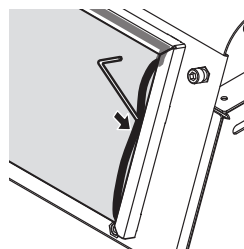
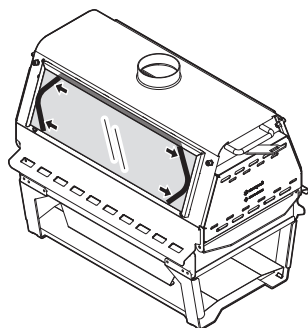
注意 ガラスの端部はもろく、挿入時に多少の欠けや傷が発生しますが、機能には影響ありません。



- ⑤ 手順①で外した固定ボルトとガラスフレームを再度しっかりと取り付けてください。



- ⑥ ガラス固定ローブを半分に折り、折り目をガラス部の内側中央に合わせ、ガラスとストーブ本体の間を埋めます。ガラス固定ローブが入りづらい箇所は付属の六角レンチを使用し押し込みます。



注意

- ・ガラスに傷をつけないようにご注意ください。
- ・六角レンチがガラスに当たるとガラスが破損しケガをするおそれがあります。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

チェックリスト

■ 設営前チェックリスト

設営前には以下のチェックリストを使用し、不足品の有無、各製品の不具合、設置前の環境を必ず確認してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	MKストーブに含まれるすべての付属品が揃っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	製品の設営に必要なペグの必要数は揃っているか。鍛造ペグ:30cm以上×4本。
<input checked="" type="checkbox"/>	MKストーブに含まれるすべての付属品に破損や消耗がないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定幕体内で使用する場合、一酸化炭素チェッカーに電池が入っているか、予備の電池があるか。一酸化炭素チェッカーの電源が入るか。
<input checked="" type="checkbox"/>	MKストーブの設営予定場所は地盤のしっかりとした平坦な地面であるか。
<input checked="" type="checkbox"/>	冬季および積雪環境での使用時、ストーブ設置場所は除雪を行ったか。

■ 設営後チェックリスト(ストーブに着火を行う前にご確認ください。)

ストーブに着火を行う前には、以下のチェックリストを使用し、シェルター・ストーブ・一酸化炭素チェッカーの状態確認を必ず行ってください。

<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定幕体内で使用する場合、指定された換気窓は開いているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定幕体内で使用する場合、一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ペグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションがかかっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいものがないか。

スペック

- セット内容：ストーブ本体、ロストル（×2）、クッカーガード（×2）、灰かき、ハンドル、カラピナ（×8）、自在付ロープ（3.7m×4）、IGT 脚固定プレート（×4）、煙突ホルダー、煙突セット、遮熱プレート、煙突収納ケース
- 材質：ストーブ本体／ステンレス、窓ガラス／耐熱ガラス、ガラス固定ロープ／セラミックロープ、煙突セット／ステンレス、ハンドル／ステンレス、灰かき／ステンレス、IGT 脚固定プレート／ステンレス、煙突収納ケース／ポリエステル（PVC コーティング）
- 収納サイズ：ストーブ本体（オプション／煙突一部含む）：59×36×48（h）cm、煙突収納ケース（煙突一部／オプション）：22×22×55（h）cm
- 重量：ストーブ本体（オプション／煙突一部含む）：23.5kg、煙突収納ケース（煙突一部／オプション）：2.5kg

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA

Instruction manual Ver. 1.00

ST-110

MK stove



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a wood stove designed for camping. This product may pose a risk to human life if handled incorrectly, and it is necessary to acquire appropriate knowledge about carbon monoxide and wood-burning stoves in advance. To prevent serious accidents caused by improper use, please take a training course on the proper handling of this product, read this Instruction Manual carefully, and ensure that you fully understand its contents before use. If there are any explanations that you cannot understand or if any problems with the product are found, please stop using the product immediately and contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. Also, please keep this Instruction Manual in a safe place so that you can refer to it at any time to ensure smooth and safe use of the product.

Hazards of carbon monoxide poisoning

Burning firewood produces carbon monoxide and carbon dioxide. When there is a lot of oxygen, a lot of carbon dioxide will be produced, and when there is a lack of oxygen, a lot of carbon monoxide will be produced. Particularly in enclosed spaces where oxygen levels tend to be low, the concentration of carbon monoxide increases, which makes poisoning more likely. Carbon monoxide is a very dangerous toxic gas that has an adverse effect on the human body, and that can lead to death depending on the degree of inhalation. Carbon monoxide is colorless, transparent, and odorless, which makes it difficult to detect. Therefore, when using the stove, you need to prepare conditions in advance so that the chances of inhaling carbon monoxide will be as low as possible.

● Effects of carbon monoxide on the human body

Carbon monoxide concentration	Unit: ppm	Inhalation time/symptoms
0.02%	200 ppm	Experiencing mild headache within two to three hours
0.04%	400 ppm	Experiencing frontal headache after one to two hours, post-headache after 2.5 to 3.5 hours
0.08%	800 ppm	Experiencing headache, dizziness, or nausea within 45 minutes, fainting within two hours
0.16%	1600 ppm	Experiencing headache or dizziness within 20 minutes, fatal within two hours
0.32%	3200 ppm	Experiencing headache or dizziness within five to 10 minutes, fatal within 30 minutes
0.64%	6400 ppm	Experiencing headache or dizziness within one to two minutes, fatal within 10 to 15 minutes
1.28%	12800 ppm	Death within one to three minutes

* There are also reports stating that infants may die at lower concentration levels.

Excerpted from "CO Poisoning Accident Prevention Technology",
issued by the High Pressure Gas Safety Association Trade and Industry of the Ministry of Economy

Disclaimer


This product is a wood stove designed for camping. Before using this product, please be sure to read and understand this instruction manual carefully, and use the product with due consideration for safety. We will not be liable for any damage caused by the use of this product, for the following reasons and for any other reasons for which liability is exempted by law.

- Damage caused by incorrect use, assembly, or failure to follow instructions
 - Fire, explosion, burns, poisoning, other personal injury, property damage (including, but not limited to, houses, tents, camping equipment, and other property in the vicinity), and all other types of damage, including loss of profits, arising from inaccurate or incomplete assembly of this product, or any failure to comply with the methods of use, warnings, and instructions described in this instruction manual.
 - Damage caused by the use of fuel (other than commercially available firewood) not specified in the instruction manual.
- Damage caused by the combination of tent and tent elements and incorrect fire management. This product is originally designed to be used in combination with a specific tent or tent body specified by our company.
 - Use of this product in combination with any tents, tarps, shelters, or similar products sold by our company other than those fabric bodies expressly designated as being compatible with the ST-110 MK stove (hereinafter referred to as the “designated fabric body”) is not permitted under any circumstances.
 - In the unlikely event that this product is used in combination with any fabric body other than a designated fabric body, the Company will not be liable for any fire, spread of fire, breakage, personal injury, or any other losses or damage whatsoever arising therefrom.
 - Even when used in combination with a designated fabric body, the Company will not be liable for any damage arising from a fire caused by the user’s negligence, including improper handling of fire, improper installation (including inadequate installation, securing, or insulation of the chimney, etc.), or weather conditions such as strong winds, where such fire results in personal injury to the user or third parties, or damage to houses or other property.
- Special provisions regarding damage caused by product modification and combined use
 - Any damage caused by modification, disassembly, or repair of this product by the user or any third party, or from use of this product for purposes other than its intended use.
 - Use of this product in combination with wood stove–related components (including chimneys, insulation materials, extension parts, etc.) manufactured by other companies is strictly prohibited. We will not be liable for any performance degradation, breakage, fire, carbon monoxide poisoning, or any other losses or damage arising from the use of this product in combination with third-party products.
 - Any damage caused by the use of this product in combination with older or newer versions of our products with different specifications.
- Damage resulting from transportation, assembly, or storage
 - Physical damage to property and other objects owned by the user or third parties in the vicinity arising from the transportation, assembly, disassembly, or storage of this product.
- Damage caused by carbon monoxide poisoning and similar hazards
 - Any personal injury or property damage caused by carbon monoxide poisoning or similar hazardous gases resulting from failure to use a carbon monoxide detector, improper ventilation, or use in an inappropriate environment (including use inside a tent or in an enclosed space).
- Violation of pledges or agreements
 - Any damage caused by using this product in violation of a separately submitted covenant or agreement.
- Others
 - Any damage caused by natural disasters, war, riots, the enactment, amendment, or repeal of laws or regulations, or other force majeure events.

[Important Notice] Changes to Product Specifications

We may change the product specifications without prior notice for reasons such as quality improvement. Do not use a product for which the specifications have been revised together with an old product. The above provisions also apply the provisions of the above items to accidents or damage resulting from changes in specifications.

■ Safety precautions

 **DANGER** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Be sure to use a combination of the specified tent and MK stove.
Please note that we will not be responsible for any accidents or problems that occur if you assemble the products in ways other than those specified.
- Read the instruction manuals for each item you are using in combination with this product.
- When the product is used for the first time, smoke may be emitted from the oil that adhered to the stove during the manufacturing process. When using the stove inside a designated shelter, fully open the entrance. When using it outdoors, operate it in a well-ventilated location, load a sufficient amount of firewood, and burn it for approximately three hours to burn off residual oils.
- When using an MK stove in a confined space such as a specified tent, there is a risk of carbon monoxide poisoning. Never use it when the shelter is closed. Also, when using in a confined space, be sure to use a Snow Peak carbon monoxide monitor. Install the carbon monoxide monitor correctly in the specified location according to the instruction manual included.
- If you feel that the weather may pose a threat, disassemble the product immediately and evacuate to a safe location./ Be sure you fully understand the relevant weather conditions before going out. Do not use the product if bad weather is expected, and stop using it if wind, rain, or snow becomes heavy while using the product.
- If the products are used on flammable ground or vegetation, it may create a fire hazard. Be sure to use the heat shield plate provided with the product.
- When setting up on snow, remove snow from the areas where you will install the stove, make sure that the stove legs are firmly placed on the ground, and check whether the chimney can be assembled as shown in the Instruction Manual. If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.
- While this stove is in use, do not use gas canisters or other fuel-powered combustion appliances or lanterns nearby.* However, lighters and matches used to start a fire can be used.
- Do not burn anything other than commercially available natural wood firewood. In the worst case scenario, burning something that has the potential to explode or that emits harmful gases can lead to death. Also, do not burn fuel that may scatter sparks, such as paper. Sparks may fly out of the chimney, which may cause a fire or damage the shelter.
- Only use firewood that has been well dried. Otherwise, the wood may not ignite properly, which may result in incomplete combustion and generate carbon monoxide.
- When burning, do not add a fire starter. Otherwise, the flames will spread, which is very dangerous.
- Do not use petroleum-based fire starter. Carbon monoxide may be generated under certain conditions.
- Do not use any fuel other than firewood, such as coal, briquettes, or charcoal, for fuel in a wood-burning stove. Doing so may cause carbon monoxide poisoning, product damage, and fire.
- Do not use gasoline, kerosene, gas, alcohol, or other combustible liquids for ignition or as fuel.
- Do not open two doors at the same time. Otherwise, the carbon monoxide level may increase. Also, if you add firewood on both sides at the same time, you may not be able to arrange the firewood properly, which may prevent the door from closing or lead to flames escaping from the door.
- If you spray water at open flames, water vapor will be generated, which is dangerous. It may also lead to burns caused by splashed hot water.
- Do not hang or place flammable items such as clothing around the stove. If they fall due to shaking, they may catch fire, causing a fire.
- Keep children and pets away from the stove. The stove should be closely monitored to prevent burns and other hazards.
- Do not move the stove when it is assembled. Before moving the stove, check that it is cool, then disassemble it completely before moving it.
- When extinguishing the fire, wait at least three hours after the last time firewood was added. Otherwise, it is very dangerous because the stove is hot.

⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If you discover any abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- When using it in a public place such as parks, riverbeds, or campgrounds, check with the local government or administrator in advance.
- Do not use the product in areas in which you have not received permission from the landowner (private or public).
- Never use in places where the use of open fires or firearms is prohibited.
- Avoid placing the stove on a slope or unstable location. Otherwise, it may fall over.
- For products that can be used together with the stove, refer to the correspondence table. (P.31)
- When setting up the stove, exercise care to avoid injury, and observe the following instructions.
 - Do not touch the edges of parts.
 - Wear work gloves.
 - When assembling parts, do not place your hands near the joints.
- When using the stove built into the IGT frame, be sure to note the following points.
 - Please make sure that the IGT parts are correctly assembled and securely attached before use. Inspect the joints even during use. If any abnormalities are found, stop using the product. Otherwise, the stove may overturn, causing a fire or burn injuries.
 - For products that can be attached to the IGT frame, refer to the correspondence table. (P.31)
 - The available length of the IGT legs varies depending on the setting. Use them according to the information provided in the correspondence table on page 31.
 - Attach the IGT leg fixing plate and peg it down firmly. Otherwise, the stove may overturn.
 - The IGT frame and the area around the stove become very hot. Hot liquids may cause burns.
- Ensure there is a safe distance (distance that is not affected by heat) from combustible materials. Sparks may fly out, causing a fire. The stove generates a lot of heat, and lighters and other objects placed in pockets can be heated by the far infrared rays, which may cause an explosion or fire.
- Keep flammable items away from the stove.
- Please note the following points regarding the cooking equipment you use:
 - Do not use cookers with a bottom diameter of 17 cm or less and a height higher than the bottom diameter of the pot. Doing so may cause it to turn over.
 - Do not use pots that come into contact with the chimney even if the bottom diameter of the pot is 17 cm or less. Doing so may cause damage.
 - Do not use cooking utensils made of materials that are affected by heat, such as resin or wood. Doing so may cause deformation or damage.
 - Do not let the cooking utensil handle come in contact with the window glass. Otherwise, the handle may become hot and cause burns.
- Do not use this product in the specified tent that is crowded. If someone trips inside the specified tent, they may come into contact with the stove or chimney, and suffer burns.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Please note that this product is made of stainless steel that may rust due to usage conditions or the effects of heat.
- Do not use the stove if you notice any abnormalities such as abnormal combustion or damage to the main body.
- Pay close attention to the re and surrounding environment during use. Please be careful to keep an eye on children and pets to ensure they do not touch the stove or chimney.
- Prepare a bucket of water for unexpected emergencies.
- Always wear heat-resistant gloves when cooking or putting wood into the stove. This is because the main body and chimney get very hot, which may cause burns.
- Ensure there is sufficient space at the installation location.
- When using the product on the IGT frame, do not rest your legs on the table or stove, or sit on them. Also, do not hang kitchen utensils or other items on the IGT rail. Doing so will interfere with handling of the stove, which may lead to an accident.
- Do not place electronic devices or items that are sensitive to heat near the stove.
- Please note that it may be deformed due to heat, but this will not affect the use of the main body.
- Fingerprints and oil stains on the chimney and stove may appear as burn marks when burned.

Correspondence Tables of Part Numbers and Product Name

■ Stove installation correspondence table

CK-149	IGT 3 Unit Frame
CK-150	IGT 4 Unit Frame
CK-903	Collapsible IGT Frame 3 Unit
CK-904	Collapsible IGT Frame 4 Unit
GF-015	GARDEN UNIT TABLE

* Garden unit table wood top 2PCS cannot be used.

■ Multifunction table correspondence table

- CAUTION**
- Bamboo tops on products may warp, split, or become discolored if exposed to heat from the stove. Please be careful when using such products.
 - Use the rail joint of the IGT frame for the multifunction table. Do not install it on the short side as this will interfere with adding firewood.

CK-116TR	IGT Multi Function Table Bamboo Top
CK-117TR	IGT Multi Function Table Long Bamboo Top
CK-116TL	Bamboo IGT Table Regular Light
CK-117TL	Bamboo IGT Table Long Light

■ Tray correspondence table

CK-026	LD Tray Half Unit
CK-085	Stainless Single Unit Tray

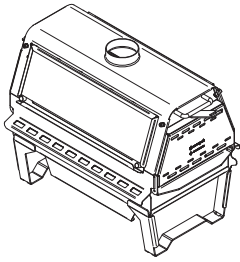
■ IGT leg correspondence table

Product code	Product name	Inside the shelter	Outside the shelter (single item use)
CK-109	IGT Ground Height 300mm Leg Set	○	○
CK-112	IGT Low Height 400mm Leg Set	○	○
CK-113	IGT Sitting Height 660mm Leg Set	×	○
CK-114	IGT Standing Height 830mm Leg Set	×	○

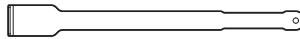
■ Cooker correspondence table

SCS-200	Yaen Cooker 1000
SCS-201	Yaen Cooker 1500
SCS-009	Trek 1400
SCS-009T	Titanium Trek 1400
SCS-020T	Titanium Personal Cooker Set
SCS-020R	Aluminum Personal Cooker Set
CS-068R	Kettle No.1
CS-550	Combo Dutch Duo

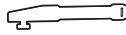
Set Contents * Before start using, check that all set contents and accessories are included.



Stove body



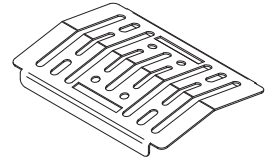
Ash scraper



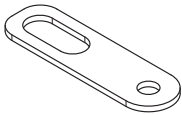
Handle



Chimney holder



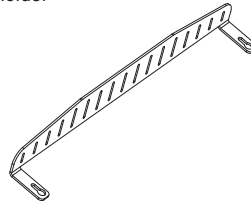
Fire grate x 2



IGT leg fixing plate x 4



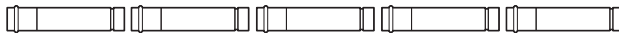
Carabiner x 8



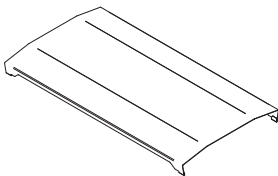
Cooker guard x 2



Hexagonal wrench



Chimney set



Heat shield plate



Rope with rope tensioner
(3.7m / 12.1') x 4



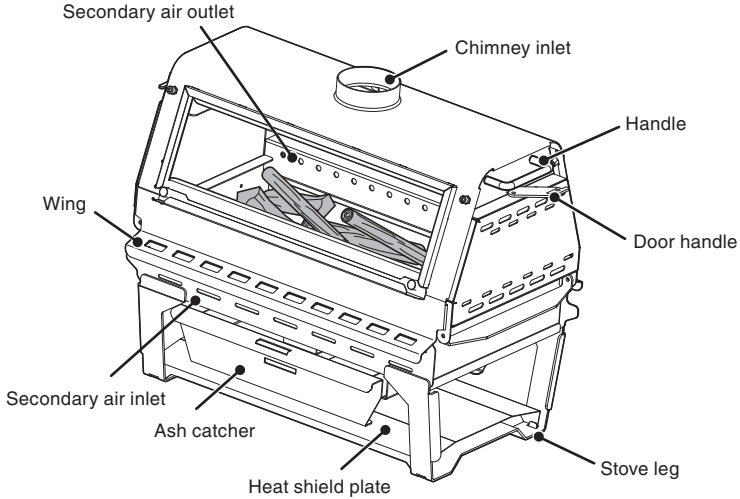
Chimney storage case

[When installing in an IGT frame]

Pegs to secure the IGT are not included. Prepare your own forged pegs separately.

- Forged-peg conditions
 - Peg of 30cm / 11.8" or longer x 4
- About stainless steel tray
 - Prepare the required number of stainless single unit trays or lid tray half units.

Names of parts

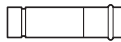


Chimney

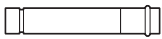
Adapter



Dia. 8 (3.1") x
30cm (11.8") x 1



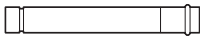
Dia. 7.5 (3") x
40cm (15.7") x 4



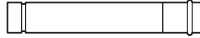
Dia. 8 (3.1") x
40cm (15.7") x 4



Dia. 7.5 (3") x
50cm (19.7") x 1



Dia. 8 (3.1") x
50cm (19.7") x 1



Chimney holder



Triple wall



Two-piece construction



Before Using this Product for the First Time

- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product, or Snow Peak Customer Service.

Stove assembly procedure

Follow the instructions below to practice setting up and packing up this product several times in order to prepare yourself for actual camping.

Make sure that you have all the accessories you need in advance. Incorrect setup or disassembly may damage the product and/or cause an accident.

DANGER

- Place the Merak stove on flat, solid ground. Placing the stove on angled surfaces may lead to unexpected accidents.
- When using the product during winter, remove snow and make sure that the legs of the stove are in firm contact with the ground and that the chimney has been assembled according to the instructions in the Instruction Manual. If you cannot assemble the chimney, change the installation location together with the specified tent body.

WARNING

- Be sure to have two or more people install the stove.
- Be sure to wear work gloves when installing the stove.

CAUTION

For the IGT leg lengths that can be used within the specified tent, please refer to the compatibility table on page 31 or the specified tent's instruction manual.

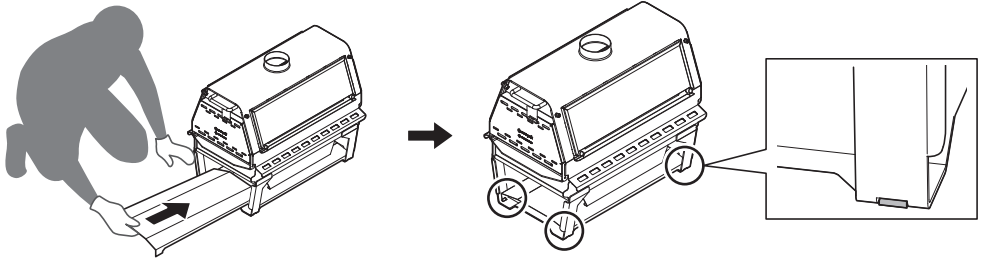
When using within the specified tent, please refer to the instruction manual for each specified tent before installing.

1 Attach the heat shield plate.

Slide the heat shield plate from the short side under the stove body so that the tabs on the heat shield plate catch.

WARNING

Be sure to always use the heat shield plate.



2 Attach the fire grate to the position shown in the figure.

How to install: Insert the ash scraper into the hole in the fire grate (Fig. 1), lift it up, and install it in the position on the stove as shown in the figure. (Fig. 2)

How to remove: Follow the installation steps in reverse. When removing the fire grate, be careful not to get burned as it will be very hot.

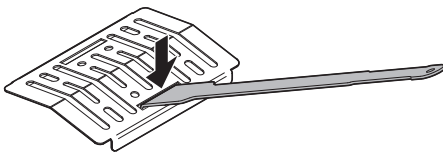


Fig. 1

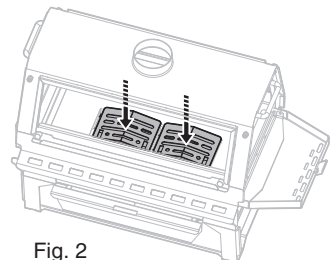
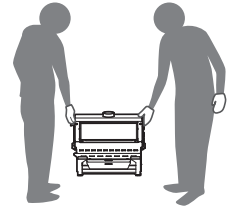


Fig. 2

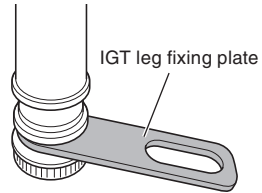
3 Install the stove.

- * Have two people grip each stove handle and lift the stove while facing each other.
- * When installing the stove on the IGT frame, please perform the following steps.



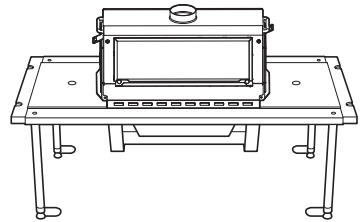
1) Attach the IGT leg fixing plate to the adjuster part of the IGT leg. (4 locations)

2) Place the IGT frame with the legs attached directly in the installation location.



3) Have two people hold each stove handle while facing each other, and install the stove in the center of the IGT frame. Insert the stainless steel tray into the gap.

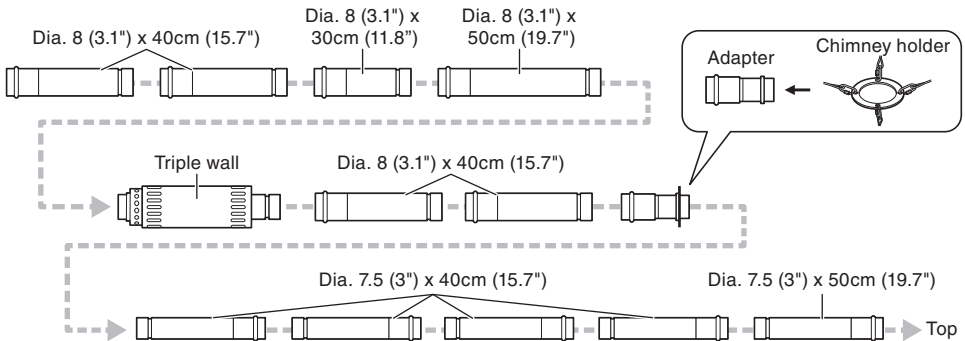
- * Set the ash catcher in any desired orientation.



4 Attach the chimney.

Insert the chimney pieces one by one in the direction shown in the figure.

When using the stove within the specified tent, note that the connection method varies depending on the designated tent. Check the instruction manual for the specified tent to confirm how to install the chimney.



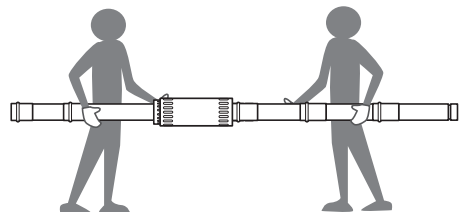
WARNING

- The end of the chimney is sharp due to the way the product was processed. Please be careful not to touch it.

- Make sure that no people or nearby objects hit the product. Otherwise, it may cause an injury.

CAUTION

- Make sure the chimney is inserted to the end.
- Do not force the screw in or apply excessive load when inserting it. The chimney is deformed.



It will be easier to assemble if two people hold the chimney and insert it while adjusting the insertion angle.

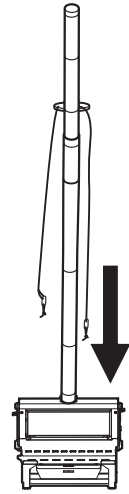
5 Insert the chimney into the stove.

Hold the chimney vertically and insert it into the stove until it completely hits the bottom.

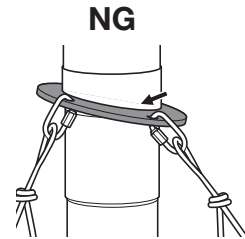
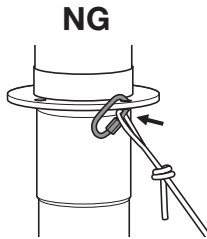
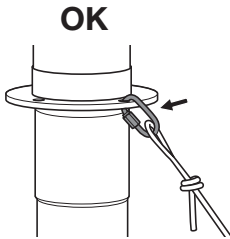
6 Secure the chimney using a rope.

Secure the chimney in a fixed position using a rope with rope tensioner (3.7m / 12.1') according to how you plan to use it. When securing the chimney, check the following points and rotate the chimney to adjust its position.

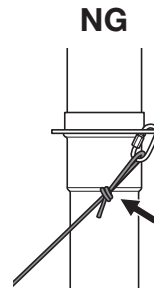
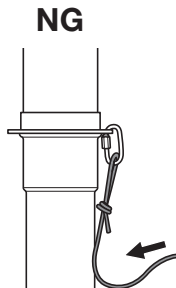
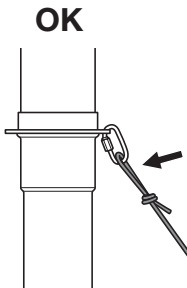
- Are the rope and carabiner properly secured in the correct position?
- Does the rope directly come into contact with the chimney?
- Is the carabiner misaligned?



● Adjust the chimney holder.



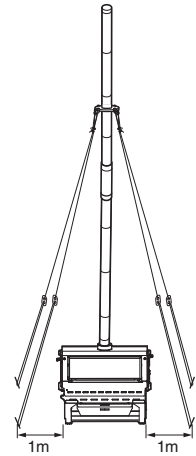
If the chimney holder is at an angle, adjust it so that it is parallel to the ground.



● Regular usage

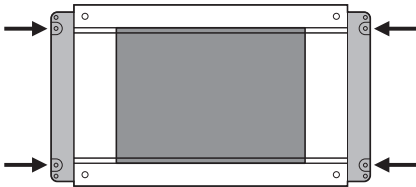
Peg down the rope with rope tensioner (3.7m / 12.1') with a forged peg of 30cm / 11.8" or more, more than 1m / 3.3' away from the stove. (4 locations)

When doing so, the carabiner is not required on the side the pegs are inserted into the ground.

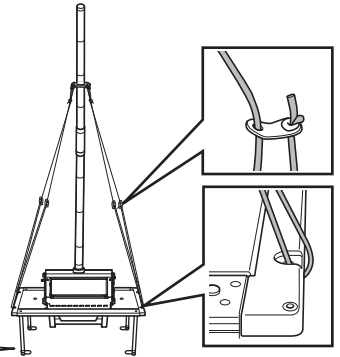
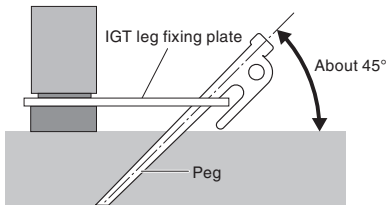


● When using the stove while installed in the IGT frame

1) Pass the rope with rope tensioner (3.7m / 12.1') through the hole on the short side of the IGT frame, and secure the chimney. (4 locations)



2) After checking the chimney, peg down the IGT leg fixing plate and secure it firmly to the ground.
* Use forged pegs that are 30cm / 11.8" or longer.



3) After pegging down, apply an appropriate amount of tension of the rope with rope tensioner (3.7m / 12.1').

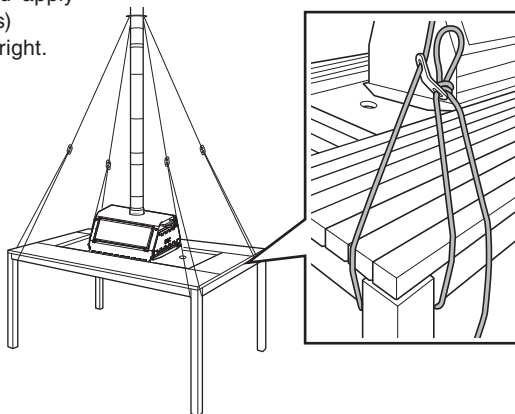
● When installing in the Garden Unit Table Wood Top Set

Attach the rope with rope tensioner (3.7m / 12.1') to the table legs as shown in the figure, and apply tension using the rope tensioner. (4 locations)

Place the stainless steel tray on the left and right.

* Do not use the IGT leg fixing plate.

* The wood top cannot be used.



- 7 If you want to cook using the stove, attach the cooker guard by following the procedure described in the operating instructions (page 41).

Pre-use checklist (Check before lighting the stove)

Before lighting the stove, be sure to check the status of the stove (specified tent to be used in conjunction with optional carbon monoxide monitor) using the checklist below.

<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open when the stove is used in the specified tent?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the carbon monoxide monitor turned on when the stove is used in the specified tent?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the stove?

How to operate

■ Door opening and closing procedure

To open the door, insert the handle into the hole in the body door handle (Fig. 1, Fig. 2), twist the inserted handle 90 degrees as shown in Fig. 3, and slowly lower the door to open it.

When closing the door, perform the procedure in reverse. After the door is closed, be sure to remove the handle. (Fig. 5, Fig. 6)

CAUTION Close the door and lock it securely using the door handle. (Fig. 5)

Fig. 1

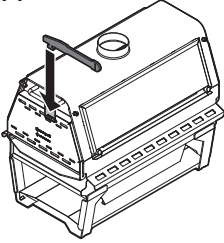


Fig. 2

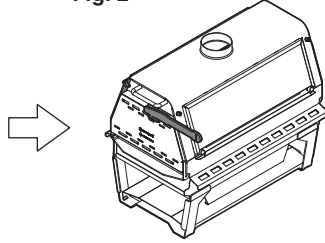


Fig. 3

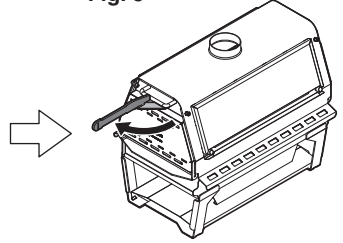


Fig. 4

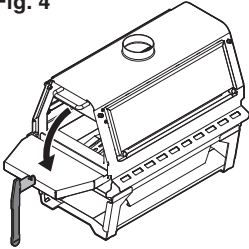


Fig. 5

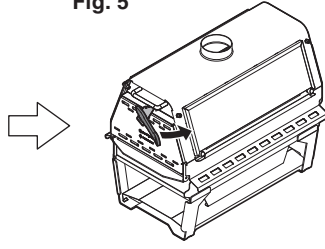
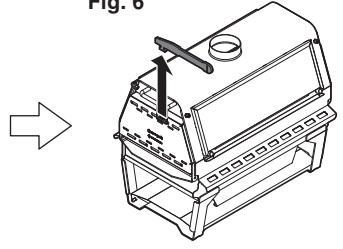


Fig. 6



■ Ash catcher opening and closing procedure

How to open: Insert the ash scraper into the hole in the ash catcher (Fig. 1 a or b), and pull it out. (Fig. 2)

How to close: Follow the opening steps in reverse, and check that the ash catcher is firmly in place.

* Be sure to remove the ash scraper after operating the ash catcher.

Fig. 1

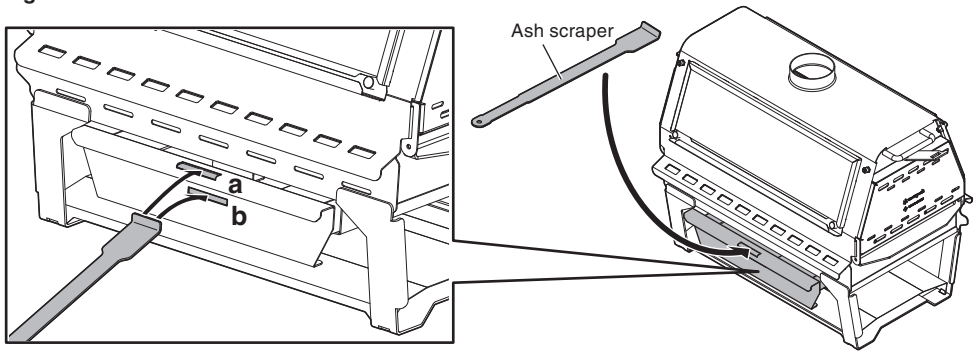
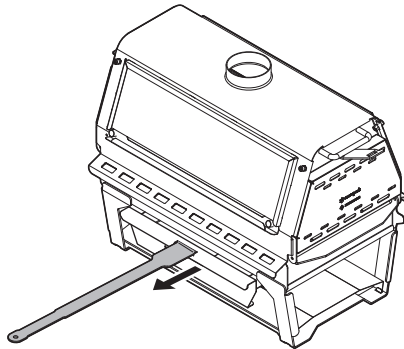
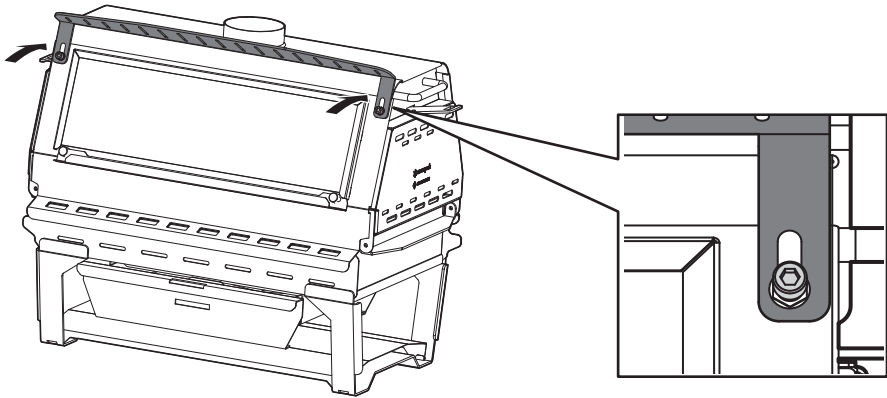
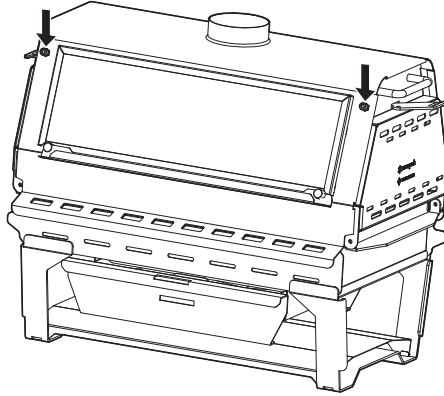


Fig. 2

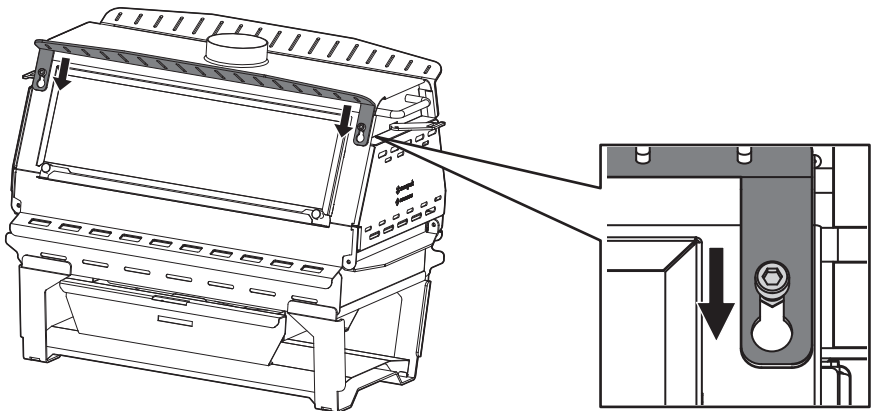


■ Cooker guard attachment procedure

- 1 Place the large holes of the cooker guard over the bolts at the position shown in the figure in the MK stove.
If the bolts are too tight, loosen them by approximately 5mm / 0.2".



- 2 Slide the cooker guard down.
Do this on both sides. Installation will now be complete.



Instructions for Use

DANGER

When using this product in the specified tent, be sure to turn on the carbon monoxide monitor before lighting the firewood.

WARNING

Before lighting the firewood, be sure to have a bucket of water, insulated gloves, and fire tongs at the ready.

■ When using the stove for the first time

- 1 When using the stove for the first time in the specified tent, fully open both doorway panels of the shelter as shown above. At this time, organize your belongings near the doorway, and always ensure there is an evacuation route in case of an emergency.
- 2 Light the stove according to the ignition method described on the next and subsequent pages.
- 3 The first time you use it, you will need to burn off all the industrial oil applied to the main body. When grilling, whether inside the tent or outdoors, ensure there is adequate ventilation to avoid inhaling smoke, and ensure that no other people are nearby. Do not stand near the unit except when adding firewood, and let it burn for approximately three hours. If you inhale the smoke from the burning oil, it may make you ill.

CAUTION If only a small amount of firewood is being used, the temperature of the body will not rise, and the oil will not be burned. Always add firewood up to the secondary air hole outlet line.

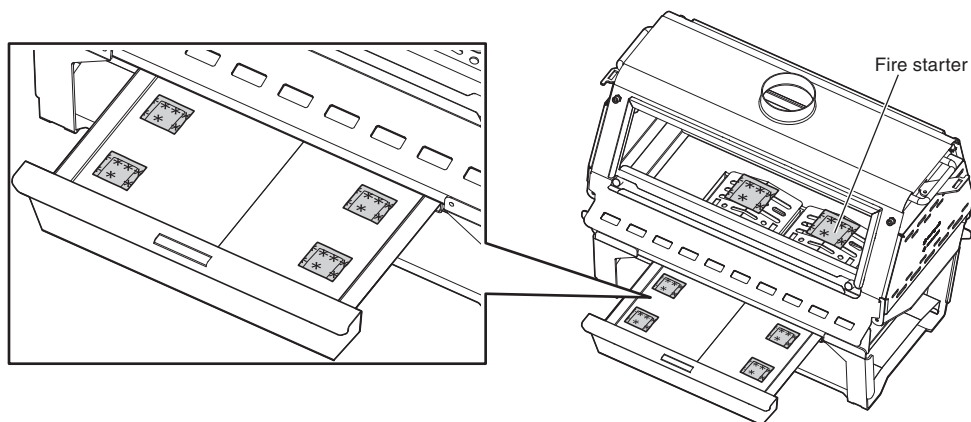
■ Ignition method

CAUTION Use firewood that has been sufficiently dried.

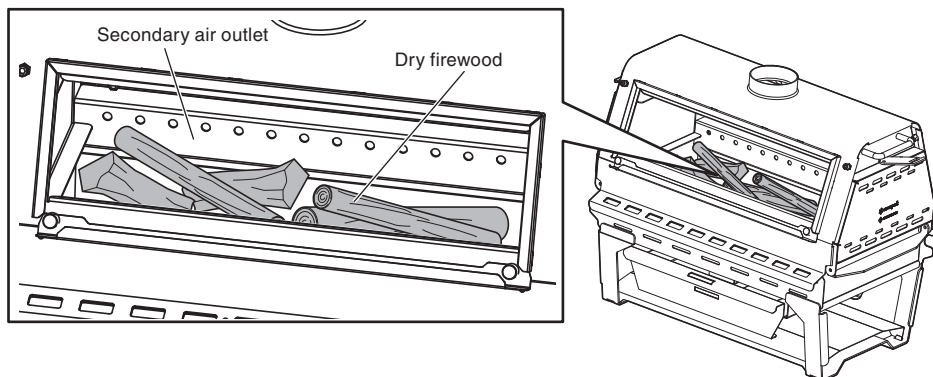
If the firewood is damp, it may be difficult to ignite.

If you continue to try to light a fire, it may cause a large amount of carbon dioxide to be released, so stop and prepare some dry firewood.

- 1 Place the fire starter on the ash catcher and the stove as shown in the figure.



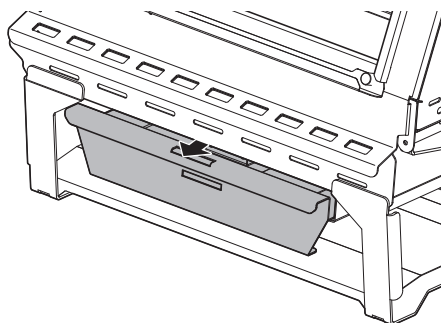
- ② Place several pieces of firewood (softwood) (standard: four to five pieces). When doing this, if you place too much firewood inside, air will not be able to flow through sufficiently, which may prevent ignition. Also, do not place firewood above the secondary air outlet.



- ③ Use a match to ignite the fire starter.
If it is difficult to ignite, pull out the ash catcher about 1cm / 0.4" to allow more air to enter through it.

* After igniting all the firewood in the stove, completely close the ash catcher.

CAUTION Main combustion has begun when flames start to come out of the secondary air outlet. Once secondary combustion has begun, you can add firewood up to above the secondary air outlet, but be sure to adjust the way you add firewood as well as the amount in order to prevent the secondary air outlet and chimney inlet from being blocked.



Use the fire tongs to add firewood (hardwood) in a way that does not block the secondary air outlet. When doing this, be sure to only use one door.

DANGER Do not open two doors at the same time. Otherwise, the carbon monoxide level may increase. Also, if you add firewood on both sides at the same time, you may not be able to arrange the firewood properly, which may prevent the door from closing or lead to flames escaping from the door.

■ Firepower adjustment

By varying the amount of firewood you put into the stove, you can adjust the size of the fire. If the fire does not get stronger even after adding new firewood, ash may be blocking the holes in the fire grate. Use the ash scraper to remove the ash and open the ash catcher slightly. Once the firewood is burning well, close the ash catcher completely again.

■ When cooking

If you want to cook, be sure to use a cooker guard.

Do not use cookers with a bottom diameter of 17cm / 6.7" or less and a height higher than the bottom diameter of the pot. Doing so may cause it to turn over. Do not use pots that come into contact with the chimney even if the bottom diameter of the pot is 17cm / 6.7" or less. Doing so may cause damage. (Pot correspondence table on page 31)

Do not use cooking utensils made of materials that are affected by heat, such as resin or wood.

Doing so may cause deformation or damage.

When using cooking utensils in the specified tent, do not cook anything that produces smoke inside the specified tent. Doing so may adversely affect health.

Do not let the cooking utensil handle come in contact with the window side. Otherwise, the handle may become hot and cause burns.

Always wear heat-resistant gloves when cooking. Otherwise, you may be burned.

How to disassemble

DANGER

When extinguishing the fire, wait at least three hours after the last time firewood was added. Otherwise, it is very dangerous because the stove is hot.

- 1 Prepare a bucket containing water nearby. When extinguishing fire, smoke may be emitted or sparks may fly. Place a bucket in a location where it will not cause damage to the shelter or property, or injure people around it. (Fig. 1)
- 2 Open the stove and use the ash scraper to remove the fire grate. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, be careful not to open both doors at the same time as the wind will blow ash around. (Fig. 2)
- 3 After removing the fire grate, use the ash scraper to remove all charcoal into the ash tray. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, be careful not to open both doors at the same time as the wind will blow ash around. (Fig. 2)
- 4 Use the ash scraper to remove the ash catcher, carry it carefully to the bucket containing water, and extinguish any remaining flames. The ash catcher is heavy, so be sure to hold ash scraper with both hands. (Fig. 3)
- 5 To disassemble, perform the setup procedure in reverse.

Fig. 1

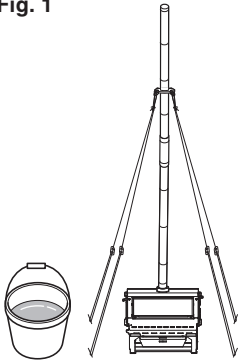


Fig. 2

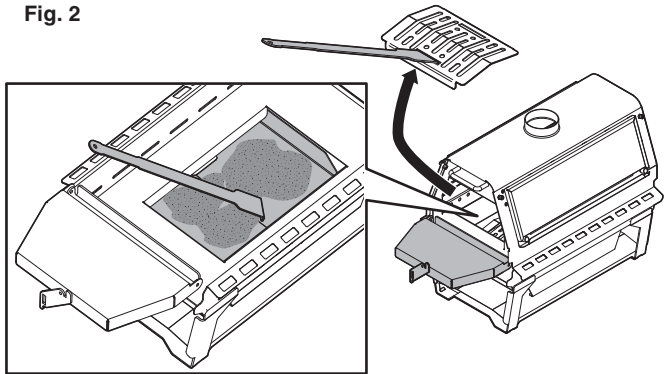
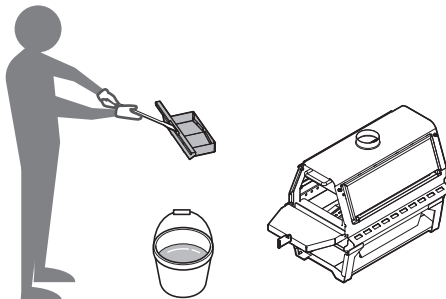


Fig. 3



Emergency Response

If the following phenomenon occurs, evacuate away from the shelter, and wait until the fire is extinguished. Contact the fire department if necessary.

- The chimney has fallen out due to some impact during combustion.
- Abnormal smoke or an odor has occurred in the tent even though the stove door is closed during combustion.
- The flames flow backward.
- The flames have spread outside the stove.

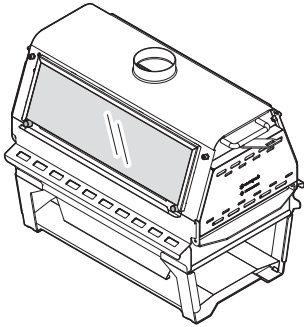
* The fire cannot be extinguished immediately even if you try to put it out using water.

Maintenance instructions

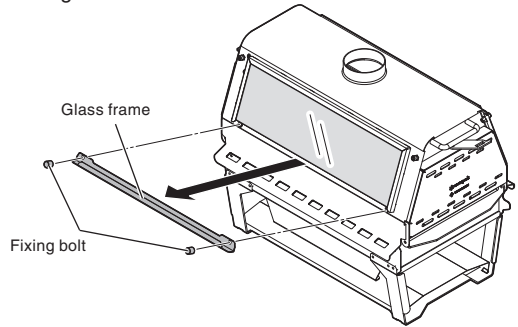
- When cleaning the stove or chimney, do not use a hard scrubbing brush, etc. Doing so may cause scratches.
- When maintaining or cleaning this product, be sure to use protective equipment such as gloves.
- If light grime or water gets on this product, promptly wipe with a dry cloth and allow it to dry sufficiently.
- If salt (seasoning, etc.) or other chemicals get on this product, wipe thoroughly with a well wrung cloth and allow it to dry sufficiently.
- Store out of direct sunlight in a well-ventilated area with little humidity.
- Please note that rust may develop depending on the situation, for example, due to contact with moisture if the product is left for a long time in snow or rain, or if the product is left in a location exposed to sea breezes such as a beach.
- The stove and chimney will rust if they are left in a wet state, so be sure to dry them thoroughly before storing them.
- Clean the inside of the stove using a brush. When doing this, do not use a hard brush because it may scratch the body.
- Clean the chimney set once a season using a chimney brush with a diameter that matches the diameter of the chimney. Any soot or tar that is stuck in the chimney may cause incomplete combustion and trigger a fire in the chimney.
- Replace the glass fixing rope once every two years. Please contact Snow Peak customer service when changing the glass fixing rope.

■ How to replace the window glass

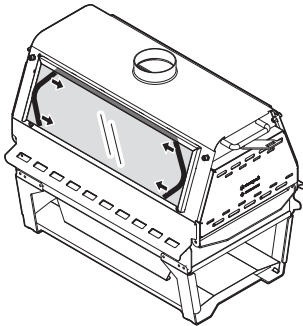
CAUTION The window glass is a consumable item. Replace the glass fixing rope and glass once every two years. Be sure to wear work gloves while working. Otherwise, you may be injured by the edges of the main body.



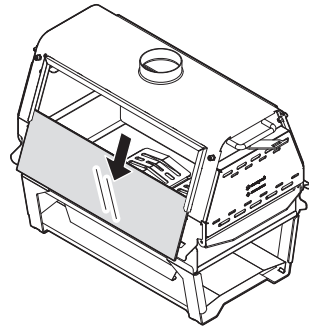
- 1 Remove the two fixing bolts, then remove the glass frame.



- 2 Remove the glass fixing rope from the gap inside the stove.

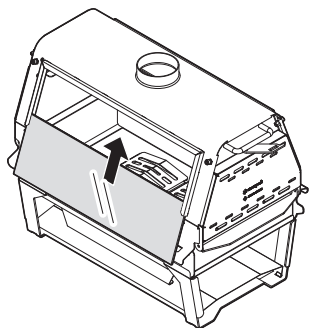


- 3 Slowly pull the glass down and remove it.

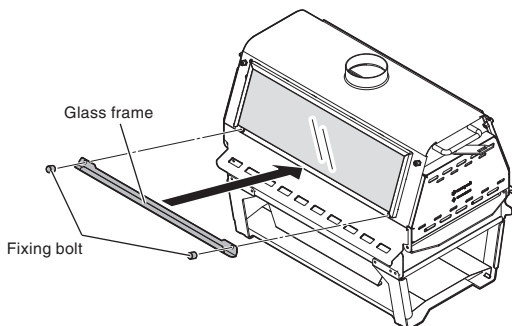


- ④ Slowly insert the new glass.

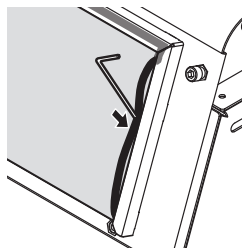
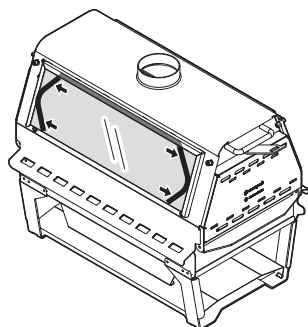
CAUTION The edge of the glass is brittle, so some chips and scratches may occur when the glass is inserted, however, this will not affect the function.



- ⑤ Firmly attach the fixing bolts and glass frame that have been removed in step ① again.



- ⑥ Fold the glass fixing rope in half, align the fold with the center of the inner side of the glass, and place it in the gap between the glass and the stove body. For areas where it is difficult to insert the glass fixing rope, use the included hexagon wrench and push it in.



CAUTION

- Be careful not to damage the glass.
- If the hexagon wrench hits the glass, the glass may be damaged, which may cause injuries.

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Failure due to improper handling described in this manual.
2. Material deterioration from normal aging of the product.
3. Failure due to modification or careless handling.
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting, or other shocks
9. Defects due to deterioration, damage, or failure of consumable parts.
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Checklist

■ Pre-setup checklist

Before setup, please use the checklist below to check for missing items, defects in each product, and the environment before installation.

<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the MK stove accessories included?
<input checked="" type="checkbox"/>	Do you have the required number of pegs needed to set up the product? Forged pegs: 30cm / 11.8" or longer x 4
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the accessories included in the MK stove free of damage and wear?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there batteries in the carbon monoxide monitor, and have spare batteries been prepared when you want to use the stove in the specified tent? Does the carbon monoxide monitor turn on?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the location where the MK stove will be set up firm and flat?
<input checked="" type="checkbox"/>	When using the shelter in winter or in a snowy environment, did you clear snow in the area where you want to install the stove ?

■ Post-setup checklist (Please check before lighting the stove.)

Before lighting the stove, be sure to check the conditions of the shelter, stove, and carbon monoxide monitor using the checklist below.

<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open when the stove is used in the specified tent?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the carbon monoxide monitor turned on when the stove is used in the specified tent?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the stove?

Specifications

- Set Contents: Stove body, Fire grate (x2), Cooker guard (x2), Ash scraper, Handle, Carabiner (x8), Rope with rope tensioner (3.7m / 12.1' x4), IGT leg fixing plate (x4), Chimney holder, Chimney set, Heat shield plate, Chimney storage case
- Material: Stove body / stainless steel, Window glass / Heat-resistant glass, Glass fixing rope / ceramic rope, Chimney set / stainless steel, Handle / stainless steel, Ash scraper / stainless steel, IGT leg fixing plate / stainless steel, Chimney storage case / Polyester (PVC coated)
- Storage size: Stove body (optional / including part of chimney): 59 x 36 x 48(h)cm / 23.2" x 14.2" x 18.9"(h) , Chimney storage case (part of chimney / optional): 22 x 22 x 55(h)cm / 8.7" x 8.7" x 21.7"(h)
- Weight: Stove body (optional / including part of chimney): 23.5kg / 51.8lbs, Chimney storage case (part of chimney / optional): 2.5kg / 5.5lbs

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

MADE IN KOREA